

2010年3月16日

《財団法人 ミズノスポーツ振興会》と
《財団法人 ミズノ国際スポーツ交流財団》が合併
財団法人 ミズノスポーツ振興財団

2010年度 事業計画のご報告

～スポーツの普及・振興のため約2億円を助成～

《財団法人 ミズノスポーツ振興会／会長 水野正人・ミズノ(株)会長》と《財団法人 ミズノ国際スポーツ交流財団／会長 水野明人・ミズノ(株)社長》は、2010年3月12日に合併し《財団法人 ミズノスポーツ振興財団／会長 水野正人・ミズノ(株)会長》となりました。新財団は今後も合併前の両財団と同様にスポーツの振興という設立主旨・目的をもって活動していきます。

この新財団の理事会ならびに評議員会を3月15日に行い、2010年度事業計画を決定しましたので合わせてご報告申し上げます。

2010年度は、4年前に改訂された文部科学省スポーツ振興基本計画に示された各施策に対し取り組みを行うとともに、(財)日本オリンピック委員会の選手団派遣事業に対する協力をはじめ、国内開催の世界選手権大会等への助成。また日本体育協会を始め、第66回国民体育大会及び学校体育の各団体、ならびに各競技団体に対しても日本選手の強化ならびに競技力向上のために関する科学助成なども合わせて、スポーツの普及・振興のため約2億円の助成を行います。

なお、助成先などの詳細は3ページ目以降をご覧ください。

■ (財) ミズノスポーツ振興財団について

<http://www.mizuno.co.jp/zaidan/>

■ (財) ミズノスポーツ振興財団 事業計画

<http://www.mizuno.co.jp/zaidan/gaiyou/jigyo-keikaku.html>

(お問合せ先)

財団事務局	内橋	TEL:03-3233-7009
ミズノ東京広報課	高橋・木水	TEL:03-3233-7037
ミズノ大阪広報課	薬師寺・大澤	TEL:06-6614-8373

(財) ミズノスポーツ振興財団について

● (財) ミズノスポーツ振興財団

設立 2010年(平成22年)3月12日

会長 水野正人(ミズノ(株)会長)

ミズノ(株)の創業者・水野利八の遺志により設立された《(財)ミズノスポーツ振興会》とミズノ(株)前会長・水野健次郎の意思により設立された《(財)ミズノ国際スポーツ交流財団》を合併したものです。

現在、同財団の持株は約2,130万株で、この株式から生ずる収入がスポーツの振興に役立てられており、昨年度までの助成金の累計額は約57億円になります。

なお、この度の合併は新公益法人制度が実施されたのを受けて、公益財団法人への移行を目指してのものです。

【合併当事財団の概要】

名称	(財) ミズノスポーツ振興会	(財) ミズノ国際スポーツ交流財団
設立	1970年9月1日	1977年2月9日
所在地	東京都千代田区神田小川町3-22	東京都千代田区神田小川町3-22
会長	水野正人(ミズノ(株)会長)	水野明人(ミズノ(株)社長)
持株数	1,345万株	785万株
累計助成額	約40億円	約17億円

6. 野球に関する普及振興助成	800 万円
(1) アマチュア野球に対する助成	(100 万円)
(イ) 全日本アマチュア野球連盟	《100 万円》
(2) 社会人野球に対する助成	(100 万円)
(イ) (財) 日本野球連盟	《100 万円》
(3) 学生野球に対する助成	(300 万円)
(イ) (財) 全日本大学野球連盟	《100 万円》
(ロ) (財) 日本高等学校野球連盟	《100 万円》
(ハ) (財) 日本学生野球協会	《100 万円》
(4) 少年野球に対する助成	(100 万円)
(イ) 全日本少年野球振興会	《100 万円》
(5) 野球バットの資源保全に対する助成	(100 万円)
(イ) 特定非営利活動法人	
アオダモ資源育成の会に対する助成	《100 万円》
(6) 地域生涯スポーツに対する助成	(100 万円)
(イ) 特定非営利活動法人 日本ティーボール協会	《100 万円》
7. ジュニア育成に対する助成	400 万円
(1) (財) 日本ゴルフ協会	(200 万円)
(2) (財) 日本テニス協会	(100 万円)
(3) 特定非営利活動法人 柔道教育ソリダリティー	(100 万円)
8. ウォーキングの普及振興に対する助成	150 万円
(1) (社) 日本ウォーキング協会	(150 万円)
9. ラジオ体操の普及振興に対する助成	50 万円
(1) 全国ラジオ体操連盟	(50 万円)
10. スポーツ競技と運営に係わる紛争の仲裁事業への協力	50 万円
(1) 日本スポーツ仲裁機構	(50 万円)
11. 国民スポーツ普及振興助成	100 万円
(1) 「体育の日 中央大会」に協賛	(100 万円)
12. 生涯スポーツ全国会議への開催協力	300 万円
13. スポーツコーチサミットへの開催協力	300 万円

14. (財) 日本体育協会創立100周年記念事業 地域シンポジウムへの開催協力 (福島、京都、広島)	300万円
15. (財) 日本オリンピック委員会に対する協力	1,400万円
(1) 第16回アジア競技大会(中国/広州)への選手団派遣事業	(400万円)
(2) 第7回アジア冬季競技大会(カザフスタン/アスタナ・アルマティ)への 選手団派遣事業	(200万円)
(3) 第25回ユニバーシアード冬季競技大会 (トルコ/エルズルム)への選手団派遣事業	(200万円)
(4) 第1回ユースオリンピック競技大会 (シンガポール)への選手団派遣事業	(200万円)
(5) 国際スポーツ組織指導者育成	(200万円)
(6) 選手強化調査研究	(200万円)
16. 日本国内世界選手権大会等への助成	900万円
(1) 2011 ISU 世界フィギュアスケート選手権大会(東京)	(200万円)
(2) 2010/2011 ISU ジュニアグランプリフィギュアスケート軽井沢大会(長野)	(100万円)
(3) 2010/2011 ISU ワールドカップスピードスケート 競技会(北海道)	(200万円)
(4) 第5回世界大学野球選手権大会(東京、横浜)	(200万円)
(5) 世界柔道選手権2010 東京大会	(200万円)
17. ワールドカップジャンプ札幌大会開催協力	100万円
(1) (財) 札幌スキー連盟	(100万円)
18. 特定非営利活動法人 日本オリンピック協会運営に協力	100万円
19. 特定非営利活動法人 日本オリンピックアカデミー運営に協力	100万円
20. 国際オリンピック委員会に対する協力	270万円
(1) オリンピックムーブメント昂揚に協力	(3万ドル)

2 1. 各競技団体に対し選手強化及び競技力向上に関する科学研究助成	2,900 万円
(1) (財) 日本陸上競技連盟	(200 万円)
(2) (財) 日本水泳連盟	(200 万円)
(3) (財) 日本サッカー協会	(200 万円)
(4) (財) 全日本スキー連盟	(200 万円)
(5) (社) 日本アマチュアボクシング連盟	(50 万円)
(6) (財) 日本バレーボール協会	(100 万円)
(7) (財) 日本体操協会	(100 万円)
(8) (財) 日本バスケットボール協会	(100 万円)
(9) (財) 日本スケート連盟	(100 万円)
(10) (財) 日本アイスホッケー連盟	(100 万円)
(11) (社) 日本ウエイトリフティング協会	(50 万円)
(12) (財) 日本卓球協会	(100 万円)
(13) (社) 日本馬術連盟	(100 万円)
(14) (財) 全日本柔道連盟	(100 万円)
(15) (財) 日本ソフトボール協会	(100 万円)
(16) (社) 全日本アーチェリー連盟	(50 万円)
(17) 全日本アマチュア野球連盟	(100 万円)
(18) (財) 世界少年野球推進財団	(100 万円)
(19) (社) 日本トライアスロン連合	(50 万円)
(20) (財) 日本ラグビーフットボール協会	(100 万円)
(21) (財) 日本ゴルフ協会	(200 万円)
(22) (社) 日本エアロビック連盟	(100 万円)
(23) (社) 日本ホッケー協会	(50 万円)
(24) (社) 日本ボート協会	(50 万円)
(25) (社) 全日本テコンドー協会	(100 万円)
(26) (社) 日本ライフル射撃協会	(100 万円)
(27) (財) 全日本空手道連盟	(50 万円)
(28) (財) 日本ハンドボール協会	(50 万円)
2 2. 財団自主事業	5,300 万円
(1) 2010 年度ミズノスポーツメントール賞、同ライター賞	(3,000 万円)
(2) ミズノスポーツ財団資料館管理	(300 万円)
(3) 記念事業積立金	(2,000 万円)
2 3. 記念品、資料収集	400 万円
2 4. 予備費	800 万円
合 計	19,270 万円